

てのひら文庫作品一覧 [4 年]

号	書名	著作者名と画家名	あらすじ
1	すいかの種	沖井千代子（作） 石倉欣二（絵）	終戦間近のある夏の日、ふじ子はお父さんとすいかを食べるのを楽しみにしていました。でも、お父さんは帰らず……。広島に原爆が落とされたということです。
2	きつね道は、天の道 ーともこは	あまんきみこ（作） 熊谷まち子（絵）	にわか雨に降られて急ぐともこは、見慣れない路地を発見。入ってみると、雨はぴたりとやんで、すべり台をかついだたくさんのきつねたちがやってきました。
3	友達	那須正幹（作） 岡本順（絵）	森君になぐられた陽介君をなぐさめたつむりのタモちゃんだったが、逆に反感を買ってしまい……。真の友情についてじっくり考えられる作品です。
4	旅人と四人のわかもの 山の魔物ピー・パンティン ーミャンマーの民話	大野徹（訳） 小野かおる（絵）	旅人と村の若者たちとの知恵比べ。なんでもまねをする魔物と漁師のかけひき。さてどちらが勝つのでしょうか。ミャンマーに伝わるゆかいな民話です。
5	車いすの犬「花子」	坂井ひろ子（作） 大森美恵子（絵）	交通事故によって下半身の感覚を失ってしまったのら犬の花子のために、木村さんは工夫して車いすを作りました。感動のノンフィクションです。
6	色のまほう ーカラー印刷のひみつ	佐々木潤平（作） 七園菜生（絵）	ドレミファ探偵事務所に挑戦状が届きました。ヨウスケ、ミノルたちといっしょにカラー印刷の仕組みを探りましょう。ものを見る力をはぐくみます。
7	キノコの町 トビウオのぼうやは病気です	いぬいとみこ（作） 原京子（絵）	水爆実験のせいで、町はねずみ色のキノコに覆われ、トビウオは病気になってしまいます。いぬい氏が平和への願いを込めて書いた2作品を収録しました。
8	ちょっとばかり変わった店	折口てつお（作） 篠崎三朗（絵）	なんでも安く貸してくれると評判のレンタル店。期限までに返却しないと大変な目に遭うことでも有名です。そこへいかさま師が宝石を借りにやってきて……。
9	泣き虫な妹	錦織友子（作） 藤本四郎（絵）	妹のともみが一年生になってから、「わたし」は彼女のわがままに振り回されてばかり。ある日、とうとう怒りにまかせてともみをしかりつけてしまいます。
10	犬どろぼう	ドラグンスキー（作） 松谷さやか（訳） 篠崎三朗（絵）	おじさんの留守に犬のチャープカの面倒を頼まれた「ぼく」。家に閉じこめて出掛けたつもりだったのに、目の前にチャープカが現れて……。
11	クビナガリュウの発見	鈴木直（作） 藤本昇（絵）	小さなころから化石に興味をもっていた鈴木直さんが高校生のときに見つけたのは、クビナガリュウの化石。日本初の歴史的な発見でした。
12	カラスは天才	国松俊英（作） 谷口高司（絵）	カラスはすぐれた記憶力と高い学習能力をもつ鳥です。宮城県やニューカレドニア諸島などで確認されたカラスの行動などをもとに、その実態に迫ります。
ディズニー	まほう使いの弟子	鈴木もと子（文）	まほう使いの弟子ミッキーは、先生の留守に水くみの仕事をなまけようとして……。傑作アニメーション「ファンタジア」の1エピソードが読み物になりました。
チャレンジ号	1 やみの世界の骨太郎	山崎香織（作） 井上あきむ（絵）	暗闇が苦手なこわがりの伸一のもとに、やみの世界からがいこつの骨太郎がやってきました。そしてしばらくの間、伸一の家で生活すると言うのです。
	2 おもしろ落語図書館	三遊亭円窓（文） 吉見礼司（絵）	「まんじゅうこわい」「時そば」など、子どもたちが楽しめる古典落語の代表作を収録しました。日本語の感性を養うことのできる1冊です。
	3 がんばれ！金子君	丘修三（作） 三輪滋（絵）	「ぼく」の学級では車いす使用者の金子君に「親切」にするのが当たり前。でも、ダイフク先生は同じ考えではないようです。「ぼく」は、それが気に入りません。